

地域の人々と共に 心あたたかな医療を進めたい



公立八鹿病院

Yoka Municipal Hospital

病 院 案 内



公立八鹿病院

基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。

【行 動 指 針】

1. 患者さん中心の医療

私たちは、患者さんの人権の尊重と人間愛を基本に、説明と同意による患者さん中心の医療を目指します。

2. サービスの提供

医療の安全性を高め、心のこもった思いやりのある医療の提供に努めます。

3. 医療水準の向上

質の高い医療を提供するために、私たちは日々研鑽に励み、医療水準の向上に努めます。

4. 地域への貢献

私たちは、地域医療機関との連携を密にし、疾病予防と急性期から慢性期までの一貫した医療を行い、地域の人達が安心して暮らせる社会作りに貢献します。

5. 救急医療

救急医療を積極的に推進します。

6. 健全経営

公的病院として、地域に必要とされる病院となるために、効率的な管理運営を行い、健全経営に努めます。





【患者さんの権利に関する宣言】

公立八鹿病院職員一同は、医療の中心は皆様であり、医療が皆様との信頼関係に成り立つことを認識して、「患者の権利に関するリスボン宣言」に従って、皆様に次のような権利と責任があることを確認します。

①良質の医療を受ける権利

差別されることなく、良質な医療を受ける権利があります。

②選択の自由の権利

医療機関や医師を自由に選択し、また、変更する権利があります。

③自己決定の権利

十分な説明のもとに、自分自身の治療を決定する権利があります。

④情報を得る権利

医療上の全ての自己情報を知る権利があります。

⑤プライバシーなどの 機密保持を得る権利

治療で医療従事者が知り得たすべての個人のプライバシーの機密保持を得る権利があります。

⑥人間の尊厳を得る権利

尊厳を保ち安楽に終末期を迎えるための、あらゆる可能な助力を受ける権利があります。

⑦療養や健康についての 教育を受ける権利

皆様には健康についての教育や、疾病の予防や早期発見についての教育を受ける権利があります。また、出来るだけ健康的な生活習慣を身につける責任があります。

【患者さんへのお願い】

上記宣言達成にむけて次のことをお願いいたします。

1. ご自身の健康に関する正しい情報を提供してください。
2. ご自身の医療への積極的な参加を望みます。
3. ご自身の治療に必要な診療上のルールを守ってください。
4. すべての患者さんが快適な環境で医療が受けられるよう、ご自身には病院の約束事を守ってください。

やすらぎと落ち着いた環境の中で、質の高い医療を提供する



← 3F リハビリテーション科
手術部
2F
■ 脳神経内科・眼科
■ 泌尿器科・麻酔科
■ 脳神経外科・ペインクリニック
■ 整形外科
■ 小児科・耳鼻咽喉科
○ 検査室
↑
1F
■ 皮膚科・整形外科
■ 腫瘍科・外科
■ 緩和ケア科
■ 内科・呼吸器科・循環器科
■ 産婦人科
■ 脳神経外科・放射線科
← 1階検査科
中央病棟待合室
検査受付科

外来・受付

外来・受付は、来院者にわかりやすいよう、エントランスホールに隣接した南側の1・2階に集約しました。2階外来部門へはエスカレーターや外来エレベーターにより、スムーズにアクセスできます。オープンな待合いは、自然採光により明るく、静かでやさらぎと落ち着いた環境となっています。



受付



外来ブロック



診察室



小児科診察前待合

アメニティの充実

アメニティゾーンは、1階ホスピタルストリートに面して、売店やレストラン、ATMコーナー、自動販売機などを利便性の高い位置に集約しています。また、庭園や図書コーナー、院内で楽しめるアート作品などの心安らげる空間や、朝にはボランティアによるミニコンサートをおこなうなど、当院を訪れるすべての皆様にとって心地よい空間づくりを目指しています。



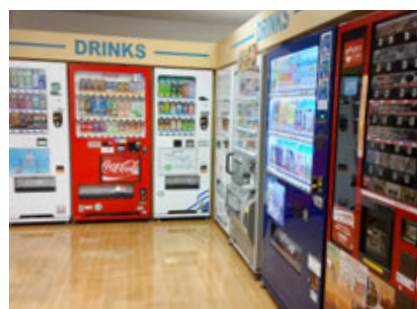
リハビリ庭園



売店



レストラン



自動販売機コーナー

幅広くあたたかい医療で、患者さんの健康を見守る



軽症から重症患者対応まで、地域に頼られる救急と総合診療

当院は、南但馬地域唯一の救急科・総合診療科として、軽症から入院治療を要する重症患者まで、全ての救急・急変患者さんを24時間365日受け入れています。(ER型救急)初期治療・診断をおこないながら、各診療科の専門的治療が必要な場合には連携をとり診療依頼をおこなっています。当科は、諸検査実施や入院病棟へのアクセスも近く、スムーズな運営ができています。また、院内外の救急蘇生研修コースや災害対応訓練の企画をおこない、いざという時の備えも充実しています。



患者さんの負担を軽減する「低侵襲治療」

開腹・開胸手術はもとより、大腸癌や早期胃癌、その他の適応疾患では、より侵襲性の低い腹腔鏡手術を積極的に取り入れており、胆石症や鼠径ヘルニアの9割、大腸癌の7割程度が腹腔鏡で行われています。また、美容上の観点より広がりつつある単孔式腹腔鏡手術も積極的に行っており、適応疾患(胆石や急性・慢性虫垂炎など)に対しても希望があればおこないます。さらに、通常の腹腔鏡下手術に際しても、細径鉗子3〜3.5ミリ(通常は5ミリ)を用いて、さらなる疼痛の軽減や手術瘢痕の縮小を目指しています。



ハイリスク分娩にも対応。地域のお産を守る

地域のお産を守るため、産科医と助産師が協力しあい、妊娠中から出産・育児期まで継続的にお母さんと赤ちゃんをサポートします。初産婦さんも経産婦さんも含め当院でのリスク基準の見直しをおこない、ひとりでも多くの方に分娩していただけるよう対応しています。また、助産師中心のお産やお母さんが自信をもって育児をスタートできるためのサポートシステム「産後ケア」もおこなうなど、質の高い助産ケアもおこないます。



「チーム医療」で専門性の高い医療を

当院では医療専門スタッフが連携し患者さんの治療やサポートをおこなう「チーム医療」を積極的に実践しています。

＜当院で活動中のチーム＞

- ・ 認知症ケアチーム
- ・ 緩和ケアチーム
- ・ 栄養サポートチーム(NST)
- ・ 褥瘡対策チーム
- ・ 感染対策チーム
- ・ 糖尿病・フットケアチーム
- ・ 排尿ケアチーム 等



地域と医療機関をつなぐ橋渡しを ―地域医療連携室―

地域医療連携室は、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・事務職員が担当しています。患者さんからの相談、医療機関との連携(紹介予約等)はもちろん患者さんがスムーズに地域へ帰ることができるような入退院支援や当院が備える高度医療機器を地域住民の健康に役立てることも積極的におこなっています。そして、地域のみなさまに安心してすごしていただけるよう医療機関や地域との橋渡し役として活動しています。さらに「入退院相談・介護福祉相談・医療介護連携」を総合的に進めてまいります。



内視鏡センター

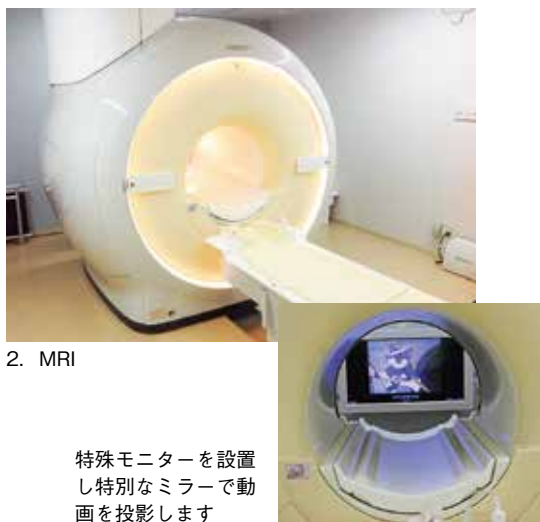
ハイレベルな内視鏡チーム による内視鏡検査・治療

内科・外科・胃腸科・総合診療科など各外来と連携し内視鏡検査や治療をおこないます。EMR（内視鏡の粘膜切除術）やESD（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）など内視鏡治療も積極的におこなっています。



1. CT

冠動脈造影CT画像



2. MRI

特殊モニターを設置し特別なミラーで動画を投影します



画像診断科

最新機器で実現する高度な画像診断

画像診断科は、あらゆる装置を使って全身を隈なく画像化し、検査をおこないます。

1. CT(64列2台)

スペクトルイメージングを得ることのできる超最新の装置を導入し、被ばく線量や造影剤量を減らし、様々な検査をおこなっています。

2. MRI(1.5テスラ2台)

広い開口系の装置で、動画を見ながらリラックスして検査が受けられます。

3. マンモグラフィ

被ばく線量を抑え、スペクトル情報から乳腺と脂肪組織を分別して乳線量や乳腺密度の自動算出が可能です。検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師の認定を取得した女性技師が撮影を担当します。

4. RIなど

一般撮影、血管撮影、RIなど全てがデジタル化され、運用しています。



3. マンモグラフィ



4. RI

手術室

ハイレベルの手術を安全に

2室に術野カメラが設置されており、スタッフステーションモニターで手術状況がわかるようになっています。温度管理は、スタッフステーション、または各手術室でおこなうことができ、湿度は年間を通じて45%を保っています。手術室：6室
空気清浄度：(CLASS：100) 1室、(CLASS：10000) 5室



検査科

迅速な検査で診療を支援

外来診療が円滑におこなえるよう各科から依頼された検査は30分で報告しています。また、休日や時間外に関わらず24時間体制で精度の高い検査結果を提供し、患者さん中心の医療体制の実現に貢献しています。



臨床工学科

患者さんと医療機器を安全につなぐエンジニア

人工呼吸器や輸液ポンプなどの生命維持管理装置、透析・血液浄化療法、手術、在宅の人工呼吸器や酸素療法機器など、様々な場面で使用する医療機器の保守点検・管理を臨床工学技士がおこないます。また、心臓カテーテル治療や内視鏡治療時の装置の操作、CPAP解析などもおこなっています。



薬剤科

医薬品のエキスパートとしてリスク回避

各病棟に薬剤師が常駐し医療チームの一員として病棟と連携し業務をおこなっています。また、外来、入院すべての抗癌剤の調製を安全かつ正確におこなうことや、訪問薬剤管理指導業務など3つの業務を中心にさらなる推進を目指しています。



栄養管理科

「食」のプロによる行き届いた栄養管理

管理栄養士・栄養士・調理師・事務職など様々な職種が集まる栄養管理科では、病院食づくりだけではなく専任の管理栄養士がご自宅に伺い栄養指導をおこなう訪問栄養指導など特徴的な業務にも取り組んでいます。



透析センター

安心・安全な透析を提供する

院内各科と連携して合併症の治療や精査をしながら透析患者さんの家庭生活の質(QOL)保持に努めています。血液透析は約40名の慢性維持血管透析をおこなっており、腹膜透析の導入や重症筋無力症やギランバレー症候群などの自己免疫疾患に対する免疫吸着療法や二重濾過法(DFPP)を含めた血液浄化もおこなっています。



健康センター

健診・人間ドックで地域や職員の健康を守る

予防医療を担う健康センターでは、人間ドックや就職・進学時の健康診断、但馬地域の市町と協力し腹部や乳腺検診、低線量CT検診、子宮がん検診等をおこない地域の健康を守ります。また、職員の健康管理も担っており、定期健診をはじめ特殊健診や予防接種、カウンセリング受付など産業医と連携しながらサポートしています。

急性期から回復期・生活期まで一貫した
充実のリハビリテーション



中央リハビリテーション科

早期の家庭復帰・社会復帰をリハビリで手助けする

県下の自治体立病院の中では随一のスタッフ数を有し、急性期から回復期、退院後の在宅まで一貫したリハビリテーションを実践しています。また、回復期リハビリ病棟および急性期の入院患者さんに対しては、必要に応じてセラピストによる365日のリハビリテーションを実施できる体制を整えています。



理学療法士

病気やケガなどによって身体が不自由になった人に対し、運動療法や物理療法を併用し、「立つ」「歩く」など基本的な身体能力の回復や向上を目的としたリハビリを中心におこないます。日常生活動作練習を運動療法と並行して実施することで、より早い離床、日常生活動作の獲得を目指します。



作業療法士

食事・更衣・整容・入浴・家事動作など、日常生活で必要とされるより細かい動作能力の回復を目標としてアプローチをおこないます。また、認知症や高次脳機能障害といった、神経心理学的障害に対しても作業療法を通じて改善に努めています。



言語聴覚士

言語・構音障害では、言葉の改善に努めることはもちろんのこと、パソコンなどのコミュニケーション支援機器を使用し、人と人が「会話」できる為のサポートをおこなっています。また、嚥下障害のある患者さんに対しては評価をおこない、その人に適した食べ物の形態や食べ方を指導しています。



快適な療養空間と特色ある病棟で 急性期から慢性期の入院生活をサポート



4床室

温かみのある看護を目指して、光庭に面した病棟中央にスタッフステーションやエレベーターを配置し、スタッフにとっては動線の短い、患者さんにとっては見守られている安心感のある1フロア1看護単位の病棟となっています。



個室



デイルーム

一般病棟(急性期)

専門性を活かし 質の高い看護をおこなう

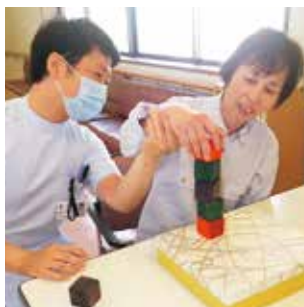
さまざまな診療科から入院となる急性期病棟です。高齢者や認知症患者が増加している中で、手術療法を中心とした病棟や内視鏡など内科的侵襲的処置を積極的におこなっている病棟など、病棟ごとの強みを発揮し看護にあたっています。臨機応変な対応と丁寧さで患者さんやご家族に安心して入院していただけるよう質の高い看護を目指しています。



回復期リハビリテーション病棟

日常生活の向上と在宅復帰を目標に 365日リハビリテーションをおこなう

回復期リハビリテーション病棟では、残された機能を最大限に活かすリハビリテーションをおこなっています。移動・食事・排泄・更衣などの日常生活動作能力を高め、寝たきり予防・在宅復帰・社会参加を目指します。患者・ご家族様を中心に、医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカー・栄養士・薬剤師などがチームを組み、退院後の生活の質向上にむけたリハビリテーションサービスを提供しています。



上肢機能練習



家事動作練習



屋外歩行練習



分娩室



新生児室

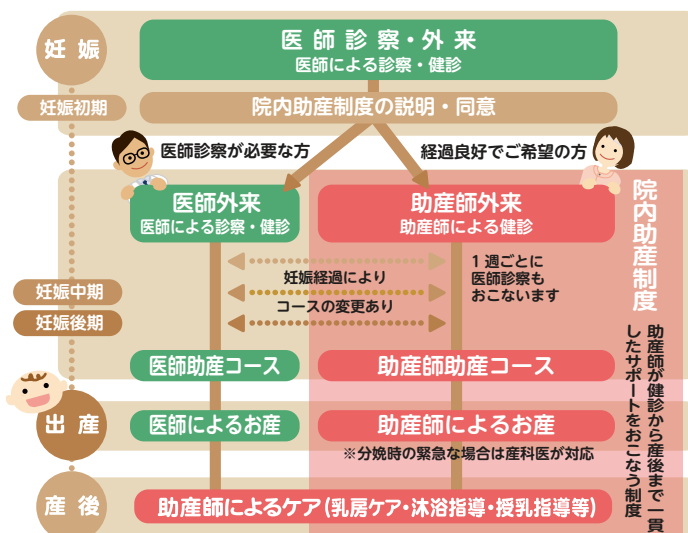
院内助産制度

医師と連携しながら助産師が中心となって妊娠中から出産、育児期まで継続的に母さんと赤ちゃんをサポートするシステムです。助産師が本来の専門性を発揮することで安心して出産していただける体制を整えています。

周産期センター

出産前から出産後にかけて お母さん・赤ちゃんをサポートする

周産期センターでは、明るい雰囲気の中産科医や小児科医、助産師が協力しあい、出産前から出産後にかけてよりよいお産となるようお母さん・赤ちゃんをサポートします。病室は個室(6床)で、全室専用のユニットシャワー(シャワー、洗面、トイレ)が設置されており、快適な療養空間となっています。設備では、スタッフステーションや産婦人科外来でも分娩監視が可能なシステムの導入や新生児室並びに未熟児室のセキュリティ管理システムなど安全で安心な医療の提供をおこなっています。



緩和ケア病棟

がんに伴う痛みや不快な症状を 積極的に緩和する

緩和ケア病棟は、がんに伴う痛みや不快な症状を緩和する治療を積極的におこないます。また、身体的な苦痛だけでなく、精神的な苦痛や不安を軽減し、家族とともに安らぎのある時間を過ごせるよう、他職種とチームを組み対応しています。病室は全室個室で病院の最上階に位置し、窓からは但馬の自然や八鹿の街並みを望むことができます。屋上庭園には季節の花が咲き、菜園で野菜づくりも楽しめます。ファミリーキッチンでは、ご家族が手料理を作られたり、食欲がない方へかき氷やミックスジュースを作るなど、少しでも自宅に近いような環境で過ごせるようにしています。患者さんの希望や生き方を尊重し寄り添い、「その人らしく生きる」ことを支え、安心して生活していただくことを目指しています。



屋上庭園



談話コーナー



シャワー浴室



キッチン



病室



地域包括ケア病棟

急性期後のスムーズな在宅復帰を目指す

入院治療後に病状が安定した患者さんに対して、退院支援を効率的かつ密度高くおこない、在宅や介護施設への復帰を支援する病棟です。入院日数は保険診療上、最大60日までを原則とし、医師・看護師・リハビリ・医療ソーシャルワーカーなど多くの職種が患者さんやご家族と協力して在宅復帰に向け退院調整をおこなっています。



障害者施設病棟

神経難病など障害者の方の豊かな療養生活のために

パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症(ALS)、脊髄小脳変性症など重度障害者・難病患者さんの入院が中心となっています。日常生活支援・残存機能維持のためのリハビリや難病患者さんの退院調整などのサポートを主におこなっています。音楽療法士による音楽療法がおこなわれるなど、患者さんの生活が向上するように努めています。



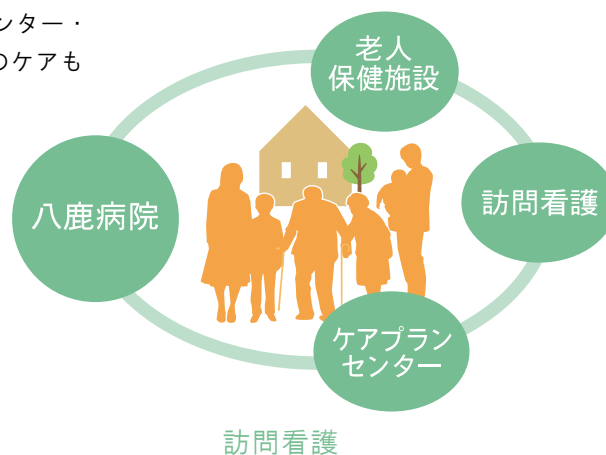
療養病棟

慢性期患者さんの長期療養や在宅復帰を支援

急性期の治療が終了し、症状の安定された患者さんが、社会復帰や家庭復帰のために継続した入院が必要な場合に、療養生活を送っていただくための病棟です。リハビリをおこない廃用症候群の予防や生活動作の練習や指導をおこないます。社会的交流の促進など健康回復の援助となるよう定期的な音楽療法で歌を歌ったりスタッフによる季節のイベントもおこなっています。

福祉施設や地域のサービスと密に連携し 安心できる在宅生活を支える

当院では、在宅部門として老人保健施設・訪問看護センター・ケアプランセンターを併設し、在宅で療養される方へのケアも重視しています。



住み慣れたご自宅で安心した暮らしを

看護師やリハビリ技師、また専任の薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士も積極的に地域へ出向き、さまざまな専門的ケアをおこなっています。関宮(養父市)・朝来(朝来市)・日高(豊岡市)の各地域にもサテライト事業所を設け、地域に密着した訪問サービスを展開しています。在宅酸素療法・在宅人工呼吸など高度な医療機器管理を要する方をはじめ、在宅でリハビリを必要とする方、認知症など精神疾患を抱える方、人生の終末期を自宅で過ごす方など、さまざまな利用者のニーズにも対応し、住み慣れたご自宅での24時間・365日の安心した暮らしをお手伝いしています。

老人保健施設

質の高いチームケアで 在宅支援をおこなう

在宅生活が継続できるように、心のこもったケアを提供しています。看護、リハビリ、介護、認知症ケア専門士など専門スタッフが充実し、質の高いチームケアをおこなっており、利用者様の能力を活かしたリハビリテーションや認知症ケアに力を入れています。

入所定員：98名 通所定員：40名



ケアプランセンター(居宅介護支援事業所)

ケアマネジャーが利用者に寄り添い 介護保険サービスの相談に応じる

介護保険制度を適切に利用し、安心して在宅生活が送れるようにケアマネジャーが介護サービスの調整など、介護保険上の相談をおこないます。当事業所では看護師・介護福祉士・社会福祉士の資格を持つケアマネジャーを配置し、病院と密に連絡をとりながら様々な相談に応じています。



沿革

- 昭和21年10月 八鹿町隔離病舎の一部を転用、日本医療団八鹿病院として開設
- 24年8月 日本医療団の解散に伴い、八鹿町国民健康保険直営の公立八鹿病院となる
(昭和24年12月26日許可)
- 26年7月 八鹿町外17ヶ町村養美伝染病院組合が組織される
- 31年4月 公立八鹿病院附属村岡診療所を開設
- 32年4月 八鹿町・養父町・大屋町・関宮町・村岡町・和田山町の6ヶ町により
国民健康保険八鹿病院組合を組織し、病院経営を八鹿町より移管する
八鹿町立国民健康保険小佐診療所を公立八鹿病院附属小佐診療所として開設
- 32年8月 国民健康保険八鹿病院組合を公立八鹿病院組合に名称変更
- 34年3月 和田山町 組合脱退
- 37年10月 公立八鹿病院附属村岡診療所を公立八鹿病院村岡分院として開設(一般25床)
- 38年4月 公立八鹿病院附属看護婦養成所を設置
- 40年3月 公立八鹿病院附属小佐診療所を廃止
- 42年10月 公立八鹿病院村岡分院を公立八鹿病院組合立村岡病院に名称変更
- 44年7月 養美伝染病院組合を解散し、経営を公立八鹿病院組合に移管
- 52年6月 医事業務電算システム導入
- 53年12月 CT室新設(全身用CTスキャン購入)
- 55年9月 病棟増築(一般309床・結核24床・伝染17床・計350床)
コバルト室・人工腎臓・新生児センター・未熟児センター新設
- 60年3月 管理棟新築(看護婦宿舎含む)
- 60年4月 総合病院の承認
- 61年11月 第1回優良自治体病院として、「自治大臣賞」を受賞
- 63年4月 児童福祉施設(助産施設)の設置
- 平成2年2月 透析棟増改築
- 2年4月 公立八鹿病院組合に美方郡美方町が加入(構成町6町)
- 3年3月 MRI室増改築(MRI購入)
- 4年4月 公立八鹿病院看護専門学校開校
- 4年11月 公立八鹿病院老人保健施設開設(入所定数90名)
- 4年12月 ドック室・病歴室新築(老健施設4F)
- 5年2月 南但訪問看護センター開設
- 5年3月 リニアック室改築(リニアック購入)
- 6年2月 オーダリングシステム導入
- 6年4月 へき地中核病院の指定
- 8年7月 七病棟・地域福祉センター・透析室増築(一般359床・結核24床・計383床)
- 8年10月 災害拠点病院指定
- 8年12月 心臓血管撮影室・頭腹部撮影室増築
- 10年8月 朝来訪問看護ステーション開設
- 11年4月 第二種感染症指定医療機関の指定(一般359床・結核20床・感染4床・計383床)
- 13年4月 居宅介護支援事業所開設
- 13年8月 回復期リハビリテーション病棟(50床)の認可
- 14年6月 公立八鹿病院現地新築整備事業 工事着工
- 15年10月 臨床研修病院指定
- 16年4月 病院機能評価認定
- 16年4月 養父市誕生により1市2町の構成となる
- 16年11月 公立八鹿病院現地新築整備事業 第1期工事完成
(一般358床・療養55床・結核7床・計420床)
- 17年4月 香美市誕生により1市1町の構成となる
- 18年9月 公立八鹿病院現地新築整備事業 第2期工事完成
- 19年1月 電子カルテ導入
- 19年9月 公立八鹿病院現地新築整備事業 グランドオープン
- 22年5月 病院機能評価リハビリテーション付加機能認定
- 23年4月 指定障害福祉サービス事業者(療養介護)指定
- 23年12月 兵庫県「がん診療連携拠点病院に準ずる病院」指定
- 24年11月 地域医療支援病院承認
- 25年6月 兵庫DMAT指定病院
- 26年4月 DPC対象病院指定
- 26年5月 南但訪問看護センター日高サテライト開設
- 26年11月 南但訪問看護センター関宮サテライト開設
- 27年1月 地域包括ケア病棟(50床)認可
- 27年4月 朝来訪問看護ステーションを南但訪問看護センター朝来サテライトに変更
- 30年10月 許可病床数変更(一般338床・療養35床・結核7床・計380床)
- 令和4年4月 新型コロナウイルス感染症重点医療機関指定





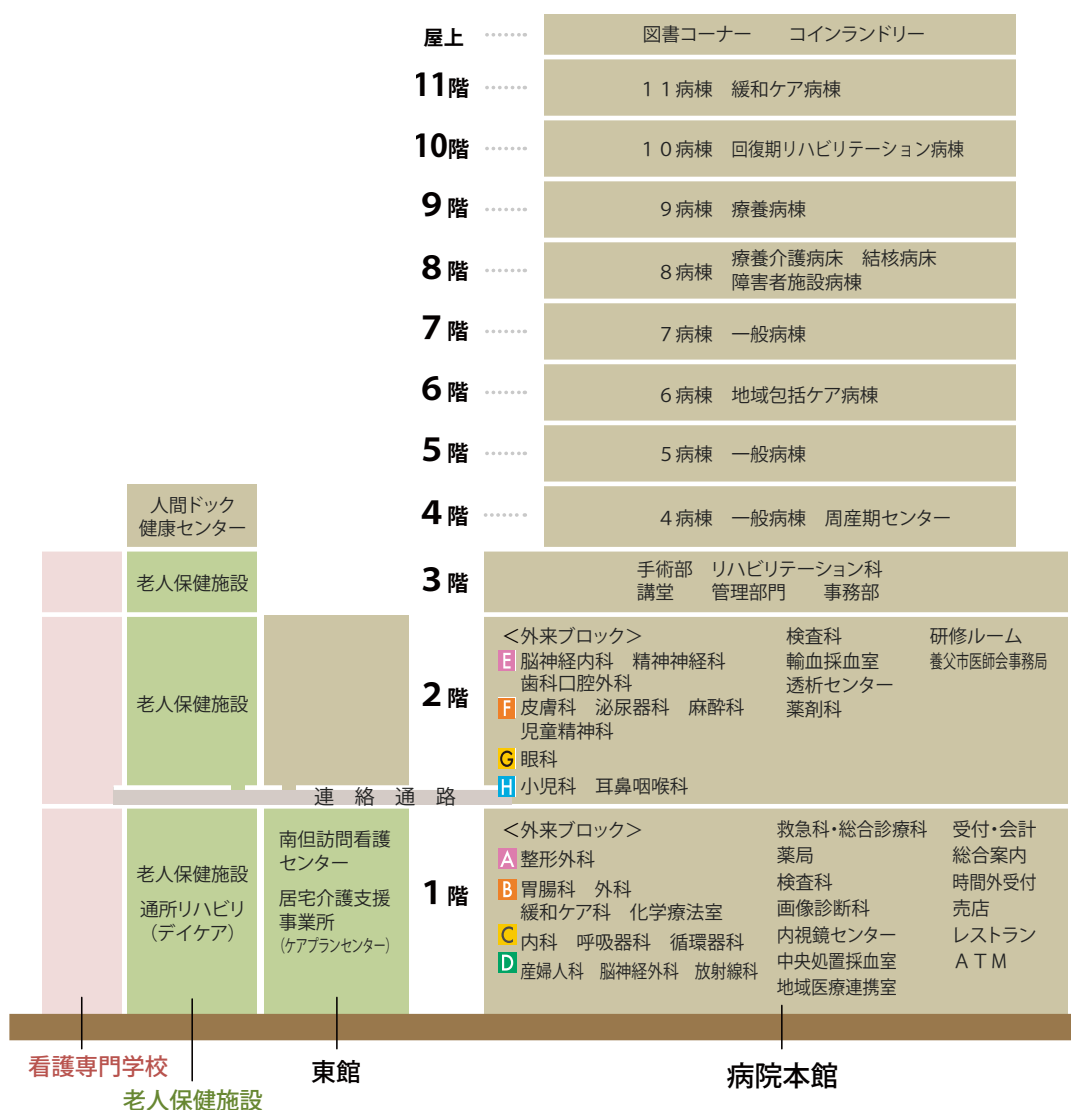
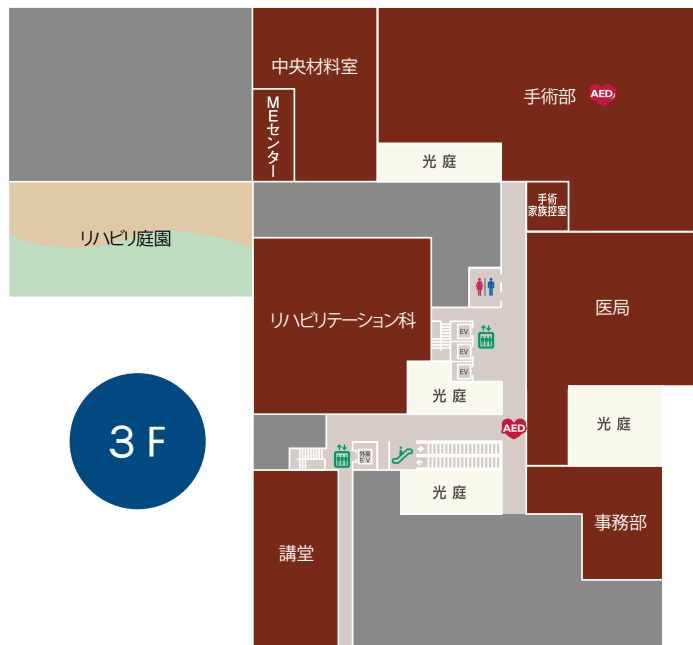
公立八鹿病院 院内案内図

敷地面積 45,032.87㎡
建物面積 35,497.76㎡



病院概要

許可病床数	合計 380 床 ●一般 338 床 一般病棟 7 対 1 入院基本料：180 床、障害者施設等 10 対 1 入院基本料 1：38 床、回復期リハビリテーション病棟入院料：50 床、緩和ケア病棟入院料：20 床 地域包括ケア病棟：50 床 ●療養 35 床 療養病棟入院基本料 ●結核 7 床 結核病棟 10 対 1 入院基本料		
診療科目	●救急科・総合診療科 ●脳神経内科 ●整形外科 ●リハビリテーション科 ●内科 ●脳神経外科 ●皮膚科 ●放射線科 ●呼吸器科 ●胃腸科 ●泌尿器科 ●麻酔科 ●循環器科 ●小児科 ●産婦人科 ●歯科口腔外科 ●精神神経科 ●外科 ●眼科 ● ●児童精神科 ●緩和ケア科 ●耳鼻咽喉科		
主な施設	●外来棟 ●透析センター ●薬剤科 ●売店 ●病棟(4～11 病棟) ●リハビリセンター ●検査室 ●食堂 他 ●周産期センター ●地域医療連携室 ●健康センター（人間ドック）		
主な機能	●総合医療情報システム ●R I ●放射線治療装置 ●画像システム(PACS・RIS) ●MRI ●血管造影撮影システム ●MDCT		
外来診療時間	土・日曜、祝祭日を除く毎日 8 時 30 分～ 午後診あり		
併設施設等	[併設施設] 公立八鹿病院老人保健施設 南但訪問看護センター 関宮サテライト・朝来サテライト 日高サテライト 公立八鹿病院居宅介護支援事業所（ケアプランセンター） 公立八鹿病院看護専門学校 [関連病院] 公立村岡病院 [併設施設] むらおか訪問看護ステーション		





公立八鹿病院

〒667-8555

兵庫県養父市八鹿町八鹿1878番地1

TEL. 079(662)5555

FAX. 079(662)3134

<http://www.hosp.yoka.hyogo.jp/>